

漢蘭酒話

上

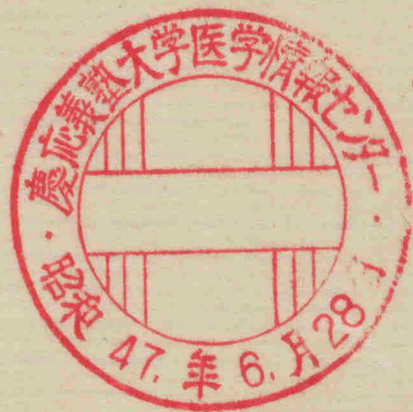
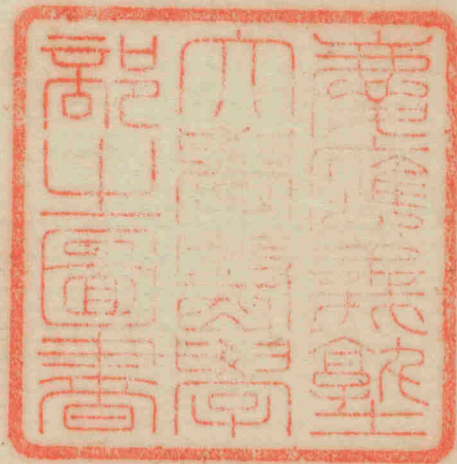


k 48-2

F 1
カ-119

490.4
Ka-7
1

No. 2534
12 K 48-2



664

四冊
1-4

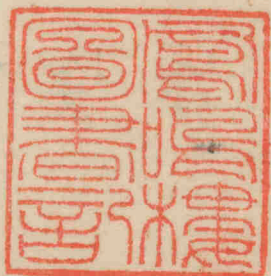
漢蘭酒話卷之上

學半樓主人 著



題辭

余カ友人某氏。世々蘭学ヲ主張セ
シ。鑒家ニ生テ。幼穉ノ時ヨリ其學
ヲ研究シ。慣習日久キ故。蘭唇ニハ
博ク涉リタレ氏。漢學ハ絶テ無キ
人ナレハ。但己ノ主トスル蘭学ノ
ミ。學問ト覺テ。勤^{ヤモ}スレハ。漢学ヲ誅
謗シ。已レヨリ^{チカ}チカ^ラ弱キ漢鑒輩ヲ。



西洋究理ハ説ニテ數屈セシメタ
ルニ誇リ。時アツテハ。神農黃帝モ
究理ヲ知サル。凡夫十リト罵議
モアレリ。一夜余ヲ訪ヒ来リテ。余
ト一盞對酌ノ間ニ。余其人ニ漢学
ヲ勸シニ。其人答ヒ言フニ。漢学ハ
總テ無用ノ空論ノミ多クシテ。我
蘭家究理ノ癸明ニ及フベキ。丁一
條モ十ヶレハ。學ニ足サルナリト
大言ヲ吐キ。傍若無人ノ顔色セシ

故。余胸中ニ謂テ。古昔孟子モ。不
直則道不見ト云フテ。異端ノ墨
者夷之ヲ詰リ。五ヒシ。丁アレハ。余
モ此人ヲ詰リ。窮セシメテ。其上ニ
テ。朋友責善ノ良劑ヲ投セハ。其人
ノ痼疾。病平愈スベシト思シユヘ
余試ニ先其人ヲ問詰ルニ。我孔子
ハ。堯舜ヲ祖述シ。文武ヲ憲章スト。
子思ノ中庸ニモ云玉フシ。孔子自
ラ。憤典ヲ討論シ。玉フモ。唐虞以下

ヲ断ジ玉ヘシガ。然シ十カラ。神農
黃帝十ドハ。何レモ皆太古ノ神聖
ナルトミヘテ。孔子易ノ係辭ヲ作
リ。二聖ノ丁ヲ仰置玉ヘシ十リ。左
スレハ。二聖ナドハ。孔子モ尊崇セ
シ程ノ聰明ナレハ。蘭家宛理位ノ
丁ハ。トク癸明アリ玉フベシト思
ル。十リ。然ルニ足下漢學ハ我蘭
家宛理ノ癸明ニ及ベキ丁一條モ
十キト云ハレシハ。一時坐興ノ戲

力。又ハ真實左様ニ思居レシカ。夫
ハ兎ニ角。漢ノ神聖癸明十キ處ヲ。
蘭ニテ始テ癸明セラレシ條。二三
速ラレヨト云タレハ。其人蘭家癸
明ノ數條申サレタリ。然シ其說ヲ
聞ニ。中華ノ鑒經ニ皆沙汰アル丁
ノミナレハ。余慨然トシテ歎テ云
シニ。叔テ足下ハ寡聞固陋ノ人ナ
ルゾ。蘭家始テ癸明セシト誇リシ
條ハ。皆我漢鑒神聖千古以前沙汰

シ玉フ丁ノミナリ。余一々古昏ノ
微證ヲ引テ言曉スヘキナリ。叔又
我

本朝ハ。上古ノ時ヨリ。中華神聖ノ道
ヲ奉シ。天下ヲ教化シ。鑒道モ漢ヲ
尊奉セシ邦ナルニ。足下其邦ニ生
テ。其邦尊奉ノ漢学モ爲ズ。中華ノ
鑒經一卷モ読ズ。中華神聖ノ古鑒
經ト唱ル昏ノ。今ノ世ニ存スルモ
ハ。汗牛充棟ト云程。多分アルニモ

アラズ。僅素問靈樞。八十一難。張昏
十六卷ノミニ過サルヲ。一度ノ電
瞞モ十クシテ。蘭ニ誇リ。漢ヲ誇ル
ハ。古ノ聖人ニ對シ。畏アルヘキ丁
ナリ。孔子モ。聖人ヲ非者ヲ深ク惡
ミ玉フテ。孝經ニ非。聖人者亡。汰。此
大乱之道也トテ。不孝ノ罪同様ニ
云玉ヘシナリ。凡ソ天下ノ大經大
法ヨリ。匠トホク百工ノ事ニ至。一デ皆
聖人天下後世ヲ憫ミ玉フ工夫ニ

出サレモノナシ。後世ニ至リ。事詳
ニ。畧便ナルニ至ルモ。總テ神聖創
業垂統ノ功カ^リニヨルモノナリ。然
ルニ此ヲ妄ニ誹リ十バ。人ノ子孫
タルモノ。爵祿祖先ニ勝リシトテ。
祖先ノ貧賤ヲ笑ヒ慢ルモ同然ナ
ルベシ。左様ノ心得違^タ事々ニ涉リ
十バ。實ニ天下大乱ノ本ナルヘシ。
其理足下ノ才智ニテ知又答^カ十キ
ニ。知ラレヌハ。全ク漢學ニ暗キ故

ナリ。尔来中華聖人ノ昏ヲ讀ミテ。
聖人ヲ誹謗セシ^サ。丁。堅ク慎ムベシ
ト云タレハ。流石^サ蘭ノ一學ニモ長
スルオアル人ニハ。頗尔了解シテ。
今ハ漢學モ出来シナリ。余因テ思
フニ。其時ノ向答ヲ昏認テ。世ノ蘭
鑒ニ示シ十バ。彼人同然ノ痼疾病
アル人ノ藥石ニモナルベク。漢医
ニ示サハ。益^ク漢學ノ古經ヲ研究セ
ラルベシト思ヒタル。老婆心ヨリ。儒

學ノ暇ニ。此ヲ書ニ筆シタルナリ。
○某氏曰。予、此頃一病人ヲ療タリ。其症水
腫脹満ニテ。此迄漢医療治シテ。小便通
利ノ劑ヲ施シタル氏。少モ功ナク。予ニ
治ヲ乞シ。故予ガ藥モ。小便通利ノ海蔘
茅根ノ莖ヲ用タルガ。外ニ手術ヲ施シ。
小腹ニ鉋鍼ヲ刺。其穴ニ管ヲ容テ。日々
水數升ヲ取リタルハ。五六日ヲ経テ。水
氣悉ク除テ。病卒愈セリ。然シ其人薄命
ナルモノニテ。數日ノ後。病ナクシテ歿

タリ。死生ハ天ナレハ。医ノ如何トモ為
ヘキ様ナケレ氏。鉋鍼ヲ刺シ。管ヲ用テ
水ヲ除ク法ハ。漢家ニハ絶テナキ。丁ニ
テ。我蘭ノ癸明ナリト云レシニ。余笑
曰。足下ハ。袂見寡聞ナル人夫。水氣脹満
ノ類ニ。鉋鍼ヲ刺。管ヲ用テ水ヲ取。丁ハ。漢
ニテハ。徒永病トテ。古昔ノ神聖既ニ其
術ヲ行ヒシモノナリ。然シ其術ハ。格別
ノ名匠ナラテハ。百癸百中十全ノ功ヲ
得難ク。縱ニ真ノ徒永病ニテ。鉋管ヲ用

ベキ症ナルトモ。其人ノ脉気躰分ノ虚
實ヲ深ク視得ル不能^スレハ。術ヲ施シ。病
ハ除テモ。後自然虚脱^シテ死スルモノ
ナリ。ヨシヤ死ナルトモ。誠ノ偶中ニテ。
其後百灸百中シ難ク。一人ヲ誤リ殺セ
ハ。百人ヲ活セシトモ。其罪ハ償^ツヒカク
キモノナル故。後世漢医。恐^レ慎^ミテ行サレ
ハ。自然^其術世ニ絶テ。但^レ医經ニノミ存シ
テ。人モ知サルニ至^レリ。凡^レテ機変ノ術
ハ。其人存シテ其術行フベキモノナレ

ハ。素問ニモ非^ハ其人勿^レ教トノ玉ヘリ。然
ルニ。已カ技ノ疎拙^シ知ラステ。神医
ナラテハ行ヒ難キ術ヲ施シ。懣^シ悻^シ望
ミ。手柄ヲ貪ルハ。仁人君子ノ為サル所
ナリ。叔又徒^ニ痲病ニ鍼ヲ用^フ管ヲ使^フ丁。
漢ノ医經ニ載タルハ。靈柩四時氣篇曰。
徒^ニ痲先取^ニ環谷下三寸^ヲ。環谷^{ト云}穴^ハ何
ル^{今分}サ^リ以^ニ鉞^ツ鍼^ツ之^ニ已^ニ刺^シ而^レ痛^シ之^ニ而^レ内^シ之^ニ。
入^レ而^レ復^シ之^ニ以^ニ尽^ス其^ノ痲^ヲ必^シ堅^ク未^レ緩^ミ則^レ煩^シ悅^シ未^レ
急^シ則^レ安^シ靜^シ。間^ハ日^ハ一^ニ刺^シ之^ニ。痲^ノ尽^ル乃^チ止^ム。飲^ニ開^ニ藥^ヲ。

方刺之時。徒飲之。方飲無食。方食無飲。無
食他食。百三十五日。トアレハ。豈漢ノ神
聖其術ニ心付玉ハズシテ。蘭家始テ癸
明セリト云ニヤ。
○某氏曰。我蘭家人ノ神明ハ頭腦ニ在ト
説タリ。何様凡人往事ヲ追憶難事ヲ思
慮スルニ必目ヲ閉上。瞪シテ以テ念ヒ
索ルハ。即神明ヲ頭腦ニ凝ス故ナリ。物
ヲ記憶スルモ頭腦ニ記スル故。小兒ノ
時ハ。腦髓未タ満ズ。老人ハ。腦髓漸ク虚

スル故。記憶壯年ノ人ニ及ハズ。健忘ス
ルト多ナリ。此ニ由テ之ヲ觀ハ。我蘭家
ノ説ハ真ニシテ。漢家人ノ神明心藏ニ
在ノ説。是ナルヲ知ヘシト云リ。余笑曰。
足下ノ説ハ。一ヲ知テ二ヲ知ガルノ論
ナリ。足下此迄無學文旨ノ漢医ノ説ノ
ミヲ聞テ。中華神聖ノ言ヲ知サルニハ。
如レ此思ヘシナルベシ。支那ノ医生モ後
世ニ至リテハ。蘭説ノ如ク。神明ハ只頭
腦ニ在ルト思ヘシト見ヘテ。汪認

菴本州備要。王惠源医学原始ト云。昏十
トニ。如此。説置タリ。然シ此皆岐黄神聖
ノ説ニ通スル丁能ハサル故。如是ノ偏
説ヲ出シタルナリ。叔神聖ノ説キ玉フ
所ヲ通考スルニ。凡ソ人ノ神明ハ心藏
ニ生テ頭腦ニ守ルモノナリ。故ニ素問
靈蘭秘典論篇ニ。心者君主之官。神明出
焉トノ玉フ。東医寶鑑ト云。昏ノ注ニ。黄
帝内经ヲ引テ。天谷元神守之トアリ。天
谷元神ノ入医学原始ト云書ニ。黄庭内
一名頭腦ノ入医学原始ト云書ニ。黄庭内

景ヲ引テ。腦為泥丸宮。元神居焉トアル
ニテ。知ルヘシ。蓋シ人ノ神明ハ。譬ハ火
ノ如シ。火ハ木カ炭カ。何物ニカ着カレ
ハ。獨存スル丁不能モノナリ。神明モ人
身中ノ血液ニ乗サレハ。独行シカタキ
モノナリ。夫故。一身血液ノ流通スル所
ニ。神明行ガルハナリ。血液流通セサル
所ニ。神明行丁ナキモノナリ。薄皮爪毛
ノ類ハ。血液流通セサル所ニ。痛痒寒
熱ヲ不覺。此神明行ガル所ナリ。バナリ。

其他血液流通スル所ニハ。神明行カ
ル。十キ故。何レノ場所ニテモ。急ク痛
寒熱ヲ覺サル所十キナリ。扱其血液ト
云モノハ。元来心藏ヨリ生スルモノナ
レハ。神明モ始テ心藏ヨリ生スルヲ知
ヘシ。故ニ神明心者君主之官神明出
ノ玉フハ。誠ニ確乎タル真説ト謂ベシ。
然而人軀ハ耳目口鼻ハ皆首ニ聚リ。最
頭高ニシテ。知覺最上ノ所ナレハ。神明
ハ頭腦ニ舍リテ一身ヲ守ルモノナル

モノナルヲ明ナリ。然則神明ハ頭腦ニ
ノミ在テ。心藏ニ關係ナキト覺シハ。偏
僻ノ見ナルベシ。實ニ徃聖ノ説ヲ明ラ
レハ。神明ノ本末終始。渙然氷釈スヘキ
ナリ。是漢ノ疎ニ似テ反テ密。蘭ノ密ニ
似テ反テ疎ナル所ナリ。
○某氏又曰。漢医方ニテ。癸汗ノ藥ハ。桂枝
麻黄ヲ主トスレド。我蘭家吐根癸表ノ
捷ナルニ及ハス。吐根ハ本吐藥ナルヲ。
輕ク用エレハ。癸表ノ藥ニナルノ宛理

ハ。漢家ナトノ末夕癸明ナキ所ナリ。吐
根癸表ノ劑ハ。吐根主藥ニシテ。外ニ一
而味ヲ加ヘ。散服シテ多ク煖湯ヲ飲メ
ハ。汗忽チ出テ邪ヲ除ク。其功甚速ナ
ルナリト詔レリ。余笑曰。此藥輕ク用レ
ハ。癸表ノ藥トナルノ寃理ハ。我神聖ト
ク癸明シ置キナリ。金匱症溫喝篇曰。
太陽中喝。身熱疼重。而脈微弱。此以下夏月
傷冷水。々行皮中所致也。一物瓜蒂湯主
之。トアルハ。是瓜蒂ハ。元未散服スレハ

吐藥ナレ氏。煎湯ニシテ。藥氣ヲ弱シテ
用レハ。皮膚間ノ喝熱水氣ヲ癸表セシ
ムルニ夫ノ方劑ナリ。我神聖癸表ノ寃
理ハ。中風傷寒溫病ノ疫邪ハ。多ク寒熱
混入ノモノナレハ。桂枝麻黃ノ溫劑ニ
テ柔ニ癸表シ。中喝ノ病ハ。純熱入テ厲
キモノニハ。瓜蒂苦寒散水ノ極劑ニテ
癸表ス。然ルニ蘭家ニテハ。疫邪中喝ノ
別ナク。齊ク吐根癸表ヲ用ユルハ。汗サ
ハ速ニ出レハ。良劑ト覺シト見ヘタリ。

疎ト云ヘシ。扱テ又発汗ノ法ハ。神聖ノ
至テ慎ミ玉フテニテ。如何トナレハ。外
ニ出レハ汗。身ニ在テハ津液ナレハ。其
身ノ分量ヨリ。一滴多ク漏シテモ。身軀
目ニ見ヘヌ所ニ不足ノ立モノナリ。夫
レ故。桂枝解肌和柔ノ薬ニテ。發表セシ
ムル時ハ。熱稀粥ニテ。薬力ヲ助ケ。麻黄
收斂。強力ノ劑ニテ。發表セシムル時ハ。
津液ヲ強ク絞ラントシテ。熱粥ノ力ヲ
ヲ假ラズ。五苓散ナドノ。散薬ニテ發表

セシ時ハ。熱粥ニテハ。力ヲ弱キエヘ多ク
煖水ヲ飲シテ。發表スルノ宛理ナト
ハ。至極精細ニ行届キ玉フモノナリ。然
ルニ。速ニ汗サヘ多分出レハ。良劑ナリ
ト思フハ。医術宛理ノ疎ナルナリ。總テ
治療ハ。始ハ大事ナルモノニテ。發表ノ
時。汗出ルト不足ナレハ。邪氣除バ又發
汗過多ニ至ハ。邪氣除クトモ。津液虚ビ
シテ。終難治ノ症ヲ引出スモノナリ。然
ルシ。医者モ夫ニ心付カス。病家モソレ

ヲ知ラズシテ。汗多ク出タレドモ。病進
ミタルハ。能々病氣ノ重キ症ナリトノ
ミ。心得テ。初^メ。匠者。人ノ強弱。脈ノ虛實ヲ
問ハズ。癸汗過多セシ^{タリ}。崇トハ。夢ニモ心
付ヤルナリ。夫レ故。傷寒論桂枝湯ノ方
條ニ。癸汗ノ法ヲ煩シク。丁寧反復シテ。
申置玉フ。且又諸條ニ。癸汗過多ヲ戒メ
玉フ。丁。誠ニ深切著明ナリ。能ク神聖ノ
旨ヲ讀テ。然ノ後。ヨク神聖宛理探^冬。願ノ
旨ヲ知ルベシ。

○某氏又曰。我蘭家ノ諸家ニ勝^ステ委^クキハ。
内景ニ若ハ無シ。然ルヲ。漢家人ノ内景
ニ委^クヲ嫉ミ。己ノ珠璣ヲ掩ハニトテ。人
ノ屍骸ヲ解剖シテ。實物ニ涉リ試ルヲ。
吳ニ中華聖人ノ仁道ヲ辯ニ假リテ。不
仁ノ事ナリト誹ルハ。大ナル謬ナルハ
シ。如何トナレハ。縦ヒ蘭ヨリ解剖書渡
来ルトモ。唐ノ書籍ニ藏府經絡ヲ訛置
ルトモ。詐ナルカ。謬リテ^ルカ。實物ニ涉
リ試サレハ。信用シ難カルベキナリ。且

又刑餘ノ屍骸ヲ解テ。無罪ノ生骸ヲ治
療シ。其疾病ヲ救。斂ト十ス。何ノ不仁
ナル。丁カ之有ニト云レシ故。余勃然変
色。曰。愚是何言。人骸ノ内景ハ。聰明睿知
ノ聖人ニテモ。外面ヨリ量度シテ。知ラ
ルベキモ。ノニ非ル故。其初メ止。丁ヲ得
ス。屍骸ヲ解剖シテ。其藏六府。經絡輸
井谷谿穴。陰陽會通ノ理ヲ攷ヘ。以テ
脊ニ筆シテ。以テ天下後世ニ傳ヘ。人々
解剖ヲ試ムル。不仁ノ事ヲ行ズシテ。但
深

ク其脊ヲ読テ。其理ヲ究レハ。實物ニ涉
リタルモ同様ニ。治療ノ助ヲ得ラルハ
シト云。為多ノ著述ナリ。靈柩經水篇ニ。八
尺之士。皮肉在。此。外可度量。切循而得之。
其死可解剖而視之。トノ玉ハハ。古ノ神
聖解剖シ玉フ。丁。此ニテ明ナリ。其後
漢書王莽傳ニ。翟義黨王孫慶捕得。莽使
大匠尚方。果巧屠共。剝之。量度其藏。以
竹筴導其脉。知所終始。云。可以治病アリ。
此ハ王莽刻薄不仁ノ人ナレハ。聖人ノ

旨ニ通セス。匠經ニ就テ匠術ヲ求メシ
メズシテ。刑屍ヲ解テ。治病ノ助ヲ得サ
セシト思ヒタルハ。神聖著述ヲ後世ニ
傳ヘ玉フテ。人ノ解剖ヲ試ムル。不仁ノ
事ヲ行スシテ。但深ク其昏ヲ讀テ。其理
ヲ究レハ。實物ニ涉リタルモ同様ニ。治
療ノ助ヲ得ラルハシトノ雅意ニ戾リ
シ致方ナリ。蘭ノ古人トテモ。左アルハ
キナナリ。人々解剖シテ。内景知ルハシ
ト云ナラハ。委曲精細ニ。内景圖昏ヲ

編置ニモ及フマシキナリ。夫ニ著述シ
テ。世ニ傳ヘ我
本朝迄モ渡シ遣スハ。此昏ヲ讀テ其意
ニ通ズレハ。人屍ヲ解剖セズトモ。實物
ヲ見ル如クナリト云急ナルベシ。夫ニ
書ニ載タルハ。真偽正誤慥ナラヌトテ。
人屍ヲ解ヲ蒙^カト心得バ。恐ハ古人著述
ヲ編シ旨ニ叶マシキナリ。且何事ニテ
モ。如^レ此深ク疑テ。實物ニ當テ見サレハ。
信シ難シトナサハ。年々伊勢ノ國ヨリ

曆ヲ天下ニ配分セシモ。曆ニ四時氣候
ノ過算。日月晦食ノ算差ヒアルモ知ル
ヘカラス。家々曆算ニ當リ見テ。始テ信
シ用ユヘキトノナラハ。人カ^{リヨク}日モ亦不
足ト云モノニテ。實ニ是率天下^ヲ略也ト
云レシ道ナルヘシ。殊ニ内景ハ知^ルガル
ベカラサルモノナレ氏。然シ。至極精細
ヲ究メテモ。格別治療ニハ益アル丁モ
無キト見ヘテ。内景今日ノ如ク委ニ至
ラサル以前ヨリモ。別ニ明師哲匠出タ

リトモ聞カズ。終テ天學ノ類モ其ガト
クニテ。古者日食月食ヲ預メ算定スル
丁開ケサリシニ。唐ノ世以來。委ク算定
出来シ丁ニナリタリ。然シ。天文ハ四時
ノ氣候ヲ定メ。寒煖ヲ分チ。民時ヲ授ル
ヨリ外ニハ用無キモノナレハ。其簡要
ノ処。堯舜ノ世ニ定メサセ玉フテ。尚昏
堯典ニ。基三百有六旬有六日。以^ニ閏月^ヲ定^ニ
四時成歲トアリ。又二十八宿ヲ見テ。四
時氣候ノ寒煖ヲ定メ玉フテ。日中星鳥

以殷仲春。日永星火。以正仲夏。宵中星虛。
以殷仲秋。日短星昴。以正仲冬。トアリ。是
ニテ民時ヲ授ル。トハ。遺漏無キ。王ノナ
リ。其他細事ハ。勝手タルベシトテ。弃置
スヘシモノト見エタリ。是孟子ノ玉フ
智者無レ不知也。當務之爲急。堯舜之知。而
不徧物。急先務也トハ。此之謂ナルベシ。
凡夫ノ究理ナラハ。末務ヲ先ニシ。要務
ヲ後ニスルノ失ニアルハキニ。要務ニ
ハ遺漏ナク。末事ヲハ弃置セラルハ。

實ニ聰明睿智。一視洞徹ノ神聖タル所
以タルヘシ。夫レ故日。食月食ノ算定ガ
分リタルトテ。別ニ農功人時ノ益ニナ
ル。トモ無ク。分ラヌ以前ハ。反テ人主警
戒ノ一助ニモナリタルナリ。夫等深ク
攷ヘ見レハ。聰明睿智ノ神聖ガ。解剖シ
玉ハ。死物ヲ見テ。生物機括ノ理迄悟
リ玉フベケレ。凡夫ガ内景ヲ實見セ
シトモ。只藏府經絡ノ形狀ヲ見覺エル
ノミノナニテ。圖昏ヲ讀テ。其理ヲ知ル

ト異ナルトナルハキナリ。然ラハ解
剖ハ實ニ無用ノトナルベシ。夫漢医内
景ヲ知ラント欲セハ。素靈ノ古書ヲ委
ク讀テ知ベク。蘭医内景ヲ知ラント欲
セハ。西洋ノ内景圖看ヲ見テ究ムハキ
ナリ。叔又刑餘ノ屍骸ヲ解テ。無罪ノ
生骸ヲ救ハ。不仁ナルト無キトノ言
ハ。大ナル誤ナリ。如何トナレハ。夫刑ハ
衆ノ大小ニ隨ヒ。磔獄門カキツ繫首ヒキウシニ處セラ
ル、ナリ。既ニ其刑ニ處セラルレハ。其

屍ハ無罪同然ナルヘキニ。又其屍骸ヲ
解剖シテ。齏粉ノ如クナセハ。是刑ヲ重
スル道理ニテ。仁人君子ノ為ニ所レ忍
ナリ。又惻隱ノ心ニ不レ忍カ。刑人ノ齏粉ヲ
恐ル、カ。何レニセヨ。解剖ノ後齏粉ノ
骸ヲ集メ。葬式ヲ営ミ。僧ニ読經ヲ頼ミ。
石碑ヲ建テ。刑人ヲ敬フナトハ。既ニ
人ノ首ヲ打痛テ。又コレヲ抱サスルモ
同然ナルヘシ。實ニ愚ニ愚シ重ルト謂
ハシ。サスレハ漢医解剖ヲ。不仁ノ道ト

譏ラルハ。豈只人ノ長ヲ嫉。己ノ短ヲ
掩トノミ云ハンヤ。柳道アルナリ。
○某氏又曰。孕胎ノ説。漢説ニハ。皆以^{ラモイ}爲ラ
ク。妊娠十月。子頭上ニ向テ。將ニ生シト
スル時。身ヲ轉シテ下ルト云ヲ。我
朝ノ賀川玄悦。其説ノ傳謬誣真ヲ惜リ。
始テ背面倒首之説ヲ唱出セリ。賀川氏
此説ノ寃理ハ。蓋シ按腹シテ。其^{タカシ}實ヲ得
ルモノニテ。徒ニ議論ヲ逞^{タカシ}スルモノ、
此ニ非ナリ。然モ猶未寃理ヲ尽ス。我蘭

ノ説ニテハ。受胎ノ時。子頭上ニ向ヒ。形骸
備ルニ随ヒテ。倒首ニ至ル。草木ノ實モ。
初二上ニ向ヒ。肥大ニ至ルニ随ヒ。下ニ
垂向フト同然ノ理ナリト説ケリ。此説
ニテ。論議始テ定ルト謂ヘシト語レリ。
余笑曰。足下其説ハ。蘭人ノ始テ癸明セ
シト思ヒテ。誇ラレシガ。中華ニテハ。宋
ノ世ニ既ニ其説ヲ唱タル人アリソレ
ヲ知ズシテ。但蘭人ノ寃理ニ巧ナリト
思ハ。誠ニ井蛙ノ見ト謂ヘシ。宋ノ沈括

力夢溪筆談ト云書ニ。凡草木百穀之實
皆倒生。首系于幹。其上抵于顛處。反是根。
人與鳥獸生胎亦首漸皆向ト下トアリ。又
朝鮮ノ李退溪力啓蒙懷疑ト云書ニモ。
亦此說ヲ載ナリ。是草木ヲ譬ニ取リテ。
漸ク倒首スルノ說。昭合符同ナレハ。豈
蘭人始テ癸明セリト謂フベケンヤ。叔
又子觥漸倒首スルノ說ハ。理窟ニ叶ヒ。
至極面白ク覺レトモ。畢竟腹内ノ天機
ニテ。人ノ能ク審ニスヘキトニ非レハ。

實ハ無用ノ寃理ナルベシ。知之亦無益。
不知亦無損トナレハ。夫レ故往古神聖
モ。說置玉ハヌト見ヘタリ。夫ニ強テ此
カ說ヲ為ハ。君子於其所レ不知。蓋闕如ス
ノ聖戒ニ背テ。恐クハ反テ解觥不仁ノ
備ヲ作シカ。深ク攷アルヘキナリ。
○某氏又曰。我蘭家寃理ノ說ニテ。癰瘰ハ
勞症ノ下地ナリト說ルハ。實ニ和漢末
癸ノ說ニテ。實物ニ攷看ルニ。癰瘰ノ毒
氣胸中ニ注クモノハ。悉ク勞症ニテ終

ル十リ。卓絶ノ究理ト謂ベシトトケリ
余笑曰。圖而連者。瘰癧ト云ヒ。不連而長
者。馬刀瘰ト云ヒ。俠^テ頸而生者。馬刀俠
纒ト云ヒ。其潰タルモノヲ瘰癧ト云フ
テ。其實ハ一物十リ。聖杞經脉篇ニ。馬刀
俠纒ハ少陽所生病十リト説キ玉ヘリ。
足少陽膽經ハ頸ヲ循レル經絡十リ。手
少陽三焦經ハ心包ニ散絡スル經絡十
リ。夫故足ノ少陽髀結シテ。頸ニ瘰癧ヲ
生スレハ。其毒流テ心包ニ入リ。瘰癧ヲ

成スモノモアルヘキニハニテ。聖杞瘰
癧篇。其癰堅而不潰者。為馬刀俠緩急治
之ト説置玉ヘリ。又手少陽髀結スレハ。
病心包絡日リ。始リ勞症ヲナシテ。其經
ヲ傳ヘ。病頸ニ癰シテ瘰癧ノ類ヲ成シ。
終ニ救ヒ難ニ至ルモノアル故。金匱血
痺虛勞病篇ニ。人年五六十。其病脉大者。
痺俠背行。苦脇鳴。馬刀俠緩者。皆為勞得
之ト説置玉ヘリ。蘭ニテ瘰癧ハ勞症ノ
下地トノ心得テ。勞症ハ瘰癧ノ下地

ナルヲ心得ザルハ偏見ト云ベシ。療症
勞症兩病表裏スルノ究理ハ中華神聖
千古以前發明シ置玉フニ。蘭家始テノ
堯明ナリト覺入シハ。寡聞固陋ト謂ヘ
キナリ。
○某氏又曰。我先頃一醫家ヲ訪シニ。折節
漢ノ素向ヲ講シ居タリ。其餘ヲ聞クニ。昔
在黃帝生而神聖。弱而能言。幼而徇齊。長
而敦敏。成而登天トアリ。叔々我蘭家ノ
昏ニハ如此奇怪ナルトハ一條モ無キト

ナルニ。漢家ノ聖經ナリトテ珍重スル
書物ハ。妄誕信シ難キトヲノセタル者
ナリト思ヒ。蓋我蘭ヲ奉シ。漢ヲ賤ムル
心出未タリ。先生ハ兎角素聖ヲ信シ岐
黃ヲ崇メ玉フガ。素問彼條ナトモ信シ
玉フヤ。余曰。古人ノ言ニ。禍起於小人。罪
歸於君子トアル如ク。誤始於解者。罪歸
於聖人ト謂ヘキモノナリ。素問彼條ナ
ドハ。注者皆解ヲ誤テ終ニ聖經ヲ無是
烏有之說ヲ載タルモノナリト思ハシ

ムルニ至リヌ。黃帝生而神靈トハ。易係
辭ニ。不可測之ヲ謂神トアリテ。黃帝ハ性
自然不思議ノ才德アラセ玉ヒシト云
丁ヲ。生而神靈ト云シモノナリ。生レ玉
フ赤子ノ時不思議ノ丁有玉フト云丁
ニハ非ルナリ。弱而能言トハ。礼記曲礼
篇ニ。十年ヲ曰幼。二十ヲ曰弱トアリ。サスレ
ハ此條モ幼而能言。弱而御齋トアルハ
キニ。弱ト幼ト前後セシハ。素問礼記傳
フ所ノ異ナルナリ。儒家ノ古書ナドニ

訓詁如此。異同スル丁多有ナリ。詩經周
南卷耳篇ニ。陟彼崔嵬。我馬虺隤。陟彼砠
矣。我馬瘠矣トアル處ノ毛傳ニ。崔嵬土
山之戴石者。砠石山戴土者ト解セリ。爾
雅ニハ。崔嵬石山戴土者。砠土山之戴石
者トアリ。毛傳モ爾雅モ何レトモ訓詁
體ナル書ナルニ。如是異同スルハ各所
傳ノ異ニテ。孰カ是孰カ非ナルヤ。今不
可知モノナリ。弱幼モ曲礼ト先後異氏
素問ノ意ニテハ。弱ハ十歳ノ丁。幼ハ二

十歳ノ丁ニハ相違ナキナリ。史記注ニ。
潘岳哀弱子、篇ヲ引テ。其子未ニ七旬曰弱
トアリ。吳崑カ素問注ニ。弱、始生、百日之
称トアレ氏。弱ノ字ニ如_キ此、訓アルナハ。
古書ニ絶テ徴證ナケレハ。固ヨリ信シ
難_シ。且ツ人生テ七十日、百日ニテ言語セ
シト解セバ。誠ニ怪誕ナルベシ。能言ト
ハ。孟子ニ。禹聞善言、則拜トアル善言ト
同義ナリ。古人能ト善ト同義ニ用タル
例多分アリ。荀子勸学篇ニ。非能水也。唐

楊倞注ニ。能、善也トアリ。漢書百官公卿
表。柔遠能_レ通。唐顏師古注。能、善也トアリ。
其他左傳成公十一年ニ。蘇氏即_レ狄又不
能_レ於狄。劉向新序。嘻、吾兩君之不相能也。
又說苑譬如_ニ水火之不相能トアル能字
モ皆善字ノ義ニ用タルナリ。黃帝十歳
ナル小兒ノ時。既ニ天下ヲ治ル善言佳
論ヲ述サセ玉フト云_フ。弱而能言ト
云タルモノナリ。幼而徇_レ齊トハ。徇、齊ノ
一字ハ皆疾速ノ義ニテ。黃帝二十歳ノ

頃ニハ。聰明ニテ知慧疾速ナラセ玉フ
ト云トヲ。幼而徇齊ト云シモノナリ。長
而敦敏トハ。爾雅ニ。敦勉也トアリ。中庸
人道敏政トアル。鄭玄注敏猶勉也トア
リ。黃帝聰明ナル上。長牡ノ年ニ學問勉
強シ玉フテ。岐伯伯高ナド、研究サセ
玉フト云トヲ。長而敦敏ト云タルモノ
ナリ。成而登天トハ。成ハ老成人ニナリ
玉フト云トナリ。登天ト云ハ。真人ニナ
ラセ玉フト云トナリ。實ニ天ニ登リ玉

フト云ニハ非ナリ。許叔重說文ニ。真仙
人變形而登天也。从匕目匕リ所以乘載
之トアリ。是真字登天ノ義アル文字ニ
ハ。寓言ニテ真徳ヲ全シテ真人ニナリ
玉ヒシトヲ。登天ト面白書認タルモノ
ナリ。古人上古ノ事ヲ記スルニ。多ク寓
言ニテ認タルモノアリ。如嫫氏練五色
石。斷鼈足ノ類ナリ。然ルニ漢代以來儒
者文面ノ儘四圖吞棗ニ解セシ故。意義不
通。怪說蜂起シテ。遂ニ。聖經ヲ化物談ノ

冊紙同然ニ思ハシタルニ至リ。是皆
注者ノ誤解ヨリ始ル。故ニ余謂ラク誤
始ニ於解者眾。歸於聖人ト。實ニ聖經ニハ
虛偽謬誤ナキモノト知ルヘシ。
某氏又曰。先生ノ言ヲ聞テ始テ中華神
聖ノ究理。古書ヲ解スノ工夫トヲ知レ
リ。愚モ今ヨリ教ヲ受テ。漢學ヲ心掛ベ
キナリ。叔テ漢鑿ハ傷寒中風溫病ノ治
療且其病因ナドヲ第一ニ論議セラル
ルニ。夫ニ齋キ瘕病ナル一種ノ病アリ。

彼病因ハ何ナルゾ。先生成説アリ玉フ
ヤ。余答曰。上古神聖ノ説ニテ。天ニ八風
ト云氣アリテ。八方ヨリ来ルモノナリ。
北方ヨリ来ヲ大剛風ト名ク。其氣人ニ
觸レハ。督脉經ニ中リテ。人ヲシテ角弓
反張セシムルモノナリ。督脉經ハ尻ノ
長強穴ニ始リ。背ノ脊骨ヲ歷テ。口ノ
交セニ終ル。經絡ナリ。夫故角弓反張ノ
氣アル病ハ。寒戰咬牙ヲ生スルモノナ
リ。骨ハ腎藏ノ主ルモノ故。寒戰ヲ發シ。

督脉ノ終ハ鰓咬ニハ。咬牙ヲ生スル自
然ノ勢ナリ。夫故金匱症。濕喝篇ニ。剛症
為病。胸滿口禁。臥不著席。脚掌急必齧齒
トアリ。叔_テ症病ハ大剛風ニ触タル病ナ
リト余説ヲ立タル證據ハ。靈柅九宮八
風篇。風從北方来。名曰大剛風。其傷人也
内舍於腎。外在骨。共肩背之臂筋。其氣主
為寒也。トノ玉ニリ。是其確徵ナルヘシ。
叔又金匱ニ。瘡家雖身疼痛不可發汗。汗
出則瘡ナド、アルハ。是類症ノ症ニテ。

真ノ症ニアラサルナリ。

○某氏又曰。我蘭家ニテハ。上發氣ト云モ
ノヲ第一ニ論セリ。漢家ニモ其説アリ
ヤ。余答曰。蘭家ニテ上發氣ト呼モハ。
上古神聖或ハ衛氣或ハ上氣或ハ穀氣
ト称シ玉ヘリ。叔_テ我神聖ノ説ニテハ。
穀食ノ氣胃府ヨリ肺藏ニ傳化シ。肺藏
ヨリ其精ナル氣ヲ一身ノ脉絡中ニ流
布ス。是ヲ營氣ト名ク。故ニ靈柅營氣篇
ニ。營氣之道内穀為寶。穀入於胃乃傳之

於肺。流溢於內。布散於外。精專者行於經。
墜。常營無已。終而復始。是謂天地之紀。卜
ノ玉ヘリ。又穀氣ノ粗ナルヲ肺藏
ヨリ皮膚間ニ布散ス。此ヲ衛氣ト名ク。
故ニ靈柢營衛生會篇ニ。營在脉中。衛在
脉外。傷寒論ニハ。營行脉中。衛行脉外ト
ノ玉ヘリ。衛氣ハ常ニ一身ノ外ヲ行テ
腠理ヲ固メ。精氣津液ノ漏サルヲ止
シ。又其氣汗空ノ内ヨリ上達シテ。外ヨ
リ觸ル邪氣ヲ拂禦クノ用ヲ為モノナ

リ。此ヲ又上氣トモ名ク。靈柢終始篇ニ。
人迎一盛。寫足少陽。而補足厥陰。二寫一
補。日一取之。必切而驗之。疎取之上氣和
乃止トノ玉フ上氣ハ。卽蘭家ニ所謂上
癸氣也。又同篇ニ。凡刺之屬三。刺至穀氣。
邪辟妄合。陰陽易居。逆順相反。沉浮異處。
四時不得。稽留滯洩。須鍼而去トノ玉フ
穀氣亦上癸氣ノ下ナリ。又上癸氣閉塞
ノ病ヲ說玉フ條アリ。靈柢失常篇ニ。衛
氣之留於腹中。稽積不行。苑蘊不得常所。

使人肢腋胃中滿。喘呼逆息者。何以去之。
伯高曰。其氣積於胃中者。上取之。積於腹
中者。下取之。上下皆滿者。傍取之。卜人王
へり。此數條ニテ上癸氣ノ論ハ審詳昭
明ナルヘキナリ。
某氏又問曰。儒經ニ鑿不三世不販其藥
ト云語了ルヨシ。愚カ輩解ニ難キ丁ニ
思ハル、ナリ。中華ノ岐伯伯高雷公ハ
邈タリ。後世ノ扁鵲仲景ノ類皆鑿術精
妙ニシテ書ヲ著シ言ヲ立ラレシ人ナ

ル田。去レ其父子相傳テ精妙ニ至リシ
ヲ不聞。固ヨリ鑿ノ巧拙ハ父子相承ノ
世數ニ係ル筈アル間敷ニ。何ニトテ聖
經ニハ若申玉ヲモノナルヤ。余答曰。足
下ノ所疑理アリ。既ニ中華ノ大儒名鑿
モ此語ハ明解ニ兼テ色々ノ奇詭ヲ唱
ヘラレタリ。舊說ハ皆父子相承ルノ丁
ニ説タレ氏其義ニテハ不通ナル故。宋
景濂ト云人ハ礼記孔穎達カ正義ニ載
タル一説ニ本ツキテ古之鑿師必通於

三世之書。三世者。一曰鍼灸。二曰神農本草。三曰素問。脈經。脈經所以察證。本草所以辨藥。鍼灸所以祛疾。非是三者。不足以言鑿。ト説タリ。然此説モ亦不通ナリ。何者。三世ノ書ヲ不讀ト云テ。但不三。世ト昏認テハ。意義聞ヘ難シ。且ソノ脈經ト云モハ。素問示從容論篇ニ。雷公曰。臣請誦脈經。上下篇。甚衆多矣。トアレ。氏何世ノ書ナルヲ知ラス。鍼灸ノ書ハ。即今ノ靈柅經ナリ。然シ素問ト靈柅

トハ。皆岐黃問對ノ書ナレハ。分テ二世ノ書ト爲難ナリ。左スレハ。三世ノ數ニ叶フマシ。夫故此説モ亦不通ナルハ。其他医学正傳ニモ。医不二世。不服其藥。條ノ疑問アレ氏。別ニ明解モ無シ。迄未一鑿家一説ヲ立テ。三世ハ。即十三歳ノ丁ナリ。礼記曲礼ニ。去國三世ト云知ノ叙文ニ。世歳也。万物以歳爲世トアル世字ト同シ。史記倉公傳ニ。事之三年所。即嘗已爲人治トアリ。千金方ニハ。世有恩

者。讀方書三年。便謂天下無病可治。及治
病三年。乃知天下無方可用。アリ。是二
テ知ル。古ノ醫者。讀書三年。然後嘗已爲
人治病也。苟モ讀書三年。十ヲサレハ。方
書不精。病ヲ診スルモ疎ナル故。醫不三
世不_レ服_二其藥_一トノ玉ヘシモノナリ。余謂
此說モ亦不通。何者。經文ニ。但醫不三年
トノミアラハ。讀書三年ノ丁ナル力。施
術三年ノ丁ナル力。事師三年ノ丁ナル
力。分明ニ決シ難カルヘシ。且又醫ヲ取

ルニ學ノ精粗ト。術ノ巧拙トヲ問ヘキ
ニ。讀書ノ年數ヲ問フハ。元來僻事ナル
ヘシ。人ニ知愚才不才ノ別アレハ。讀書
三年ニ充ズトモ。解義精細ナル人モア
リ。又終身讀書シテ。意義不通ノ人モア
レハ。讀書ノ年數ニテ。醫ノ良賤ハ定メ
難キナリ。余按スルニ。世字生字ト古
人通用セリ。列子天瑞篇。皮膚爪髮。隨世
墮落スト云文アリ。張湛注。世與生同ト
アリ。醫不三世不_レ服_二其藥_一ト云ハ。人ノ余

ヲ敷度生ニ助タル鑿者ノ藥ナラデハ
服サセ間敷ト云意ナリ。曲礼ニ。此一句
ハ君有疾飲藥。臣先嘗之。親有疾飲藥。子
先嘗之ト云語ニ連子アルハ。君父ノ疾
アル時。臣子タル者。君父ノ為ニ鑿ヲ賴
ム時ハ。能々吟味シテ。此迄敷度生活ノ
手柄アル鑿者ナラデハ。賴ム間敷モノ
ナリト云。丁ヲ説キ玉ヘシモノナリ。如
此解セハ。分釐ノ疑ヒアルニシキトナ
リ。

○某氏又問曰。餘ノ飲食ニハ服スト云ス
シテ。藥ヲ飲ニ限リテ。服スト。漢鑿家ニ
云ヒ。唱ルハ。如何ナルトナルヤ。余荅曰。
素問遺篇刺法論。小金丹ノ方後ニ。冰水
下一丸。和氣嚥之。服二十粒。無疫干也ト
リ。鑿書ニテ。服字ヲ用タルト。此ニ始テ
見ヘタリ。然モ注家其義ヲ解シ置ズ。丹
方彙編ト云書ニ。古云服藥而不言喫藥
者。蓋謂人能信服其藥。始效耳ト説リ。竺
翁力壽世奇方ト云書ノ跋文ニ。夫病者

之于藥。不曰飲。不曰食。而曰服者。是欲入
中心誠服。猶七十子之於孔子也。ト説キ
アルハ。心服ナキ藥ヲ效ナキモノ故。藥
ヲ飲マバ。心服シテ用ユヘシト云フ戒
ナリ。
○某氏又問曰。儒者ヲ讀ハ。鑿籍ヲ讀ノ助
アルハ。勿論ナリナルベシ。先生ハ儒ニ
テ鑿籍ヲ讀玉フニ。鑿籍ニテ儒書ノ微
證ニナル助アルモノニヤ。余答曰。素問

靈柩ノ類。上古神聖ノ言ヲ載タル書ナ
レハ。佳言妙論ハ勿論ノト。儒經ニ詳ナ
ラサル文字訓詁ナト。素問ニテ微證ス
ハキト多分アルナリ。先一二ヲ舉レハ。
孟子離婁篇ニ。今也小國師。大國而恥受
命焉。是犹弟子而恥受教於先師也トノ
玉フ文アリ。叔坎先師ノ字ハ。先子先人
ノ例ニ依レハ。死タル師匠ヲ丁ナルハ
キニ。生タル師匠ヲ先師ト稱セシ例。他
經ニ絶テ無シ。夫故京師ノ儲飴彥博力

論孟攷文ト云書ニ。先生ト攷タリ。夫ハ
全ク素靈ヲ讀サルニ。始ル。靈杞ニ。黃帝
岐伯直問答ノ中ニ。黃帝力岐伯ヲ先師ト
呼ミフ。丁敷條アリ。此ニテ先師ハ生ヲ
ル師匠ヲ稱スル辭ナル。丁明ナリ。靈杞
百病始生篇ニ。黃帝曰。余固不能敷。故問
先師。願卒聞其說。又師傳篇ニ。黃帝曰。余
聞先師有所心藏云々トノ玉フハ。是皆
先師ハ黃帝眼前ニ在岐伯ヲ斥言ヒタ
レハ。先師ハ生ヲル師匠ノ丁ナル確徴

先師文云

ナリ。又荀子勸学篇ニ。無冥々之功者。無
赫赫之明トアリ。物徂徠力讀荀子ニ。明
ハ名ノ字ノ誤ナリト云ヘリ。何様名。字
ニスレハ甚穩ナルニハ。其後ノ人明字
通用スヘキ例ヲ儒家ノ古書ニ索ニ。其
徴絶テ無シ。夫故方氏。刑定。謝氏。笑秋。桃
氏。遺秉。冢氏。斷。朝氏。述。猪氏。考。久氏。増注
ナトニ。其徴ヲ載ス。此ハ全ク素靈ヲ
讀サル故ナリ。素問天元紀篇ニ。君火以
明。相火以位トアル。其知ニ唐ノ王冰力

次注ニ。故曰君火以名ト直ニ名ノ字ニ
改メテ解シ置タレハ。是明ト名ト通用
スル明徴ナリ。此等ハ儒經ニ徴ナク。素
靈ニテレハ。實ニ金匱玉版トモ云ベキ。
珍重ノ古書ナリ。儒者豈読ズシテ
可ナランヤ。

漢蘭酒詒卷之上終

